

特別企画

柳本富子の足音

播州の自然により添い
時にはチベットまで出かけて行った
ありし日の息づかい

2021年4月3日(土)～5月9日(日)

10:00～17:00 〈入館は16:30まで〉

休館日 祝日でない月曜日、4/30(金)、5/6(木)

入場無料

主 催／三木市立堀光美術館

三木市教育委員会

後 援／三木市美術協会

三木市立堀光美術館

MIKI CITY HORIMITSU ART MUSEUM

〒673-0432 兵庫県三木市上の丸町4-5

TEL. 0794-82-9945 FAX. 0794-82-9974

ラッキー！ 今日はいいい天気らしい。朝食前のロッジよりペワ湖にうつるアンナプルナ(サンスクリット語で豊穡の女神)連峰をスケッチしてから出発。バスで2時間、日本の農村地帯と似た風景。ただ、牛や山羊が自然の中に放たれ、人々が戸外でくるま座になり、煙草を吸ったり談笑したりしている。また、家々のまわりには色鮮やかな花が咲き乱れ、苦しいのであろうがそれなりに楽しくゆったりと生活しているのだなーと思える。丘の上には、又、道に紙を広げみやげ物を売っている。

ホテルには各部屋ベランダがつき出ている、そこからの山々の風景。朝・昼・夕と、色・形の変わる雲の合間からのアンナプルナ連峰。また、夜空の美しさといったら…。手の届きそうな大きな星たち。ウーン…、ほんと、神々の山だ。ねずみ色・うす紫・青紫・淡黄色・黄嵐・黄土色・樺色などなど、変わる雲の色、その度に山々の色も変わって見える。鳥たちの声、ギツギツ、クワクワ、カウカー、ピーヨピー、クークー。犬も居る。十時過ぎ子供たちの歌声。向かいの山に学校が見える。『耕して天まで至る』といわれるネパール山岳地帯の棚田が美しい曲線を描くなか、ゆったりと時は流れている。

(同人誌「RANDOM」から、部分)



ありし日



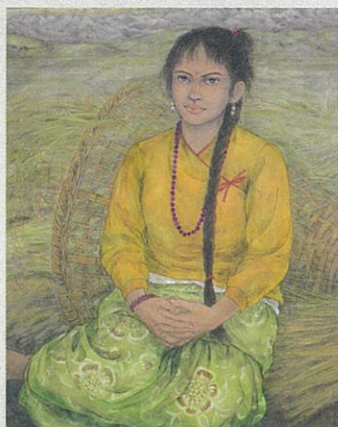
トウモロコシ



パンジー



シクラメン



休憩



涼む



ぼたん



ハナ

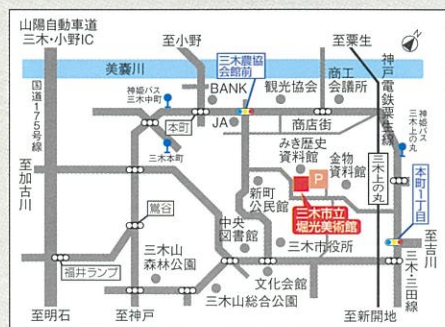


路端で

柳本 富子 略歴

- 1945 兵庫県神戸市に生まれる
- 1976 大橋良三(県日本画家連盟名誉理事長)に師事
- 1986 杉岡宗一(日展会友)に師事
- 1987 小松 均(日本美術院同人)に師事
- 1991 長谷川青澄(日本美術院同人)に師事
- 2004 清水達三(日本美術院同人、日本芸術院会員)に師事
- 2018 12月11日 永眠73歳

<日本美術院院友、兵庫県日本画連盟会員、三木市美術協会会員>



三木市立堀光美術館

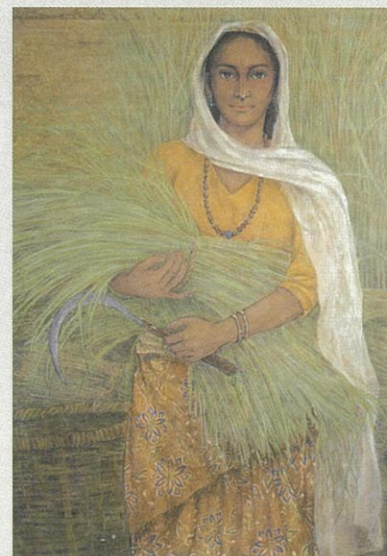
MIKI CITY HORIMITSU ART MUSEUM

〒673-0432 兵庫県三木市上の丸町4-5

TEL. 0794-82-9945 FAX. 0794-82-9974



赫



草刈り